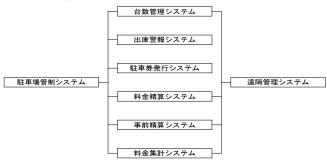


1. システム概要

(1)システム概要 駐車場出入口に機械ゲートを設置し、駐車料金の徴収を自動化する。

2. システム構成



3. システム説明

(1) 台数管理システム 出口精算機をシステム 出口精算機をシステム親機とし、入口発券機と出口精算機を通過する車両台数を計測する。 場内の車両が一定の台数に達した場合は満車状態となる。 満車状態では、入口発券機で入場制限を行うと共に、満空表示灯を点灯させる。

(2)出庫警報システム

) 口牌書報ンステム 敷地外との合流地点付近に埋設されたループコイルで出庫車両を検知する。 出庫車両を検知した際は出庫注意灯を駆動させ、合流先の車両と歩行者に対して注意喚起を行う。

(1) 駐車券発行システム 入口ゲート付近に埋設されたループコイルで入場車両を検知する。 入場車両を検知した際は発券機の音声で入場案内を行い、利用者の発券ボタン操作により 入場時刻を記録した磁気駐車券を発行する。 駐車券を抜き取ることでゲートバーが上昇し、入場可能となる。 入場車両がゲートを通過することでゲートバーを下降させる。

(4) 料金精算システム 出口ゲート付近に埋設されたルーブコイルで出場車両を検知する。 出場車両を検知した際は出口精算機の音声で精算案内を行い、利用者が駐車券を精算機に 挿入することで入場時刻からの駐車料金を計算し、未精算額を表示する。 現金又はサービス券等で精算を完了させるとゲートバーが上昇し、出場可能となる。 出場車両がゲートを通過することでゲートバーを下降させる。

(5) 事前精算システム 施設内に設置された事前精算機に駐車券を挿入することで駐車料金の支払を可能とする。 事前精算機で精算を完了させると、支払時刻が記録された駐車券が返却され この駐車券を出口精算機に挿入することで、一定の猶予時間内であれば出場可能となる。

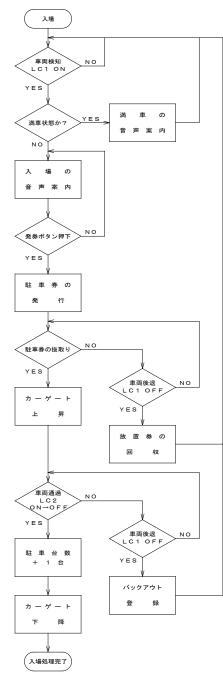
(6) 料金集計システム 各精算機で精算情報を集計し機器に内蔵された感熱紙に、合計件数、売上金額等を印字出力する。

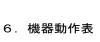
(7) 遠隔管理システム 電話回線を通して、各精算機から満空状態や精算情報を収集可能とする。

3. 機器構成

凡例	記号	名 称
TIM	TIM	駐車券発券機
ACT	ACT1 · 2	全自動精算機
PCT	PCT	事前精算機
CG	CG1~3	カーゲート
LC	LC1~8	ループコイル
SC	SC	信号制御盤
	VD1 • 2 • 3	分電盤
	ITV1 • 2	ITVカメラ
•	S0	出庫注意灯
Р	Р	満空表示灯
看板	-	看板

5. 動作フロー





	駐車台数	灯器
発券機入場	+ 1	满空表示灯
出口精算機 1 出場	– 1	空車時「空」表示
出口精算機 2 出場	-1	満車時「満」表示
L C 7 → 8 通過		出庫注意灯駆動

